

授業科目名	現代文B		単位数	3単位	学年	3
使用教科書	標準現代文B		副教材等	常識の演習と整理プライム 常用国語（第一学習社） 漢字検定完全対応文字力王 （九州教育研究会）		
○学習の到達目標 近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を含め、進んで表現し、読書することによって、人生を豊かにする態度を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	1学期中間考査	ワスレナグサ	・文章の中から問題点を見つけ、それについて考える心を養う。 ・筆者の体験を迫体験することで、現代社会について考える糸口とする。		
	5		話を聞かせて	・小説を読む面白さを味わい、鑑賞と分析のしかたを学ぶ。 ・「働くこと」や「生死」、「他者」との関わりを通して、自己を見つめ直す契機とする。		
	6	1学期期末考査	思い込みの危険性	・文章の論理構造を把握し、筆者の主張を正確に読み取る。		
7	物語を発見する力			・筆者の主張に対して、自分なりの見解を持つ。		
2 学期	9	2学期中間考査	山月記	・小説が、フィクションとして書かれていることの意味や可能性について考える。		
	10		新しい博物学を	・文章の流れに沿って内容をつかみ、筆者の主張を理解する。 ・日常生活の中にある問題に対して関心を持つ。		
	11	2学期期末考査				
12						
3 学期	1	学年末考査				
	2					
	3					
○評価方法 ①授業態度…教材の準備状況・出席状況・授業への取り組みの姿勢・ノート の状況。 ②提出物…課題等の提出状況 ③定期考査…各学期に実施する考査の成績。また、課題テストの成績も含む。						
○履修上の注意及びアドバイス ①授業者や発表者の説明などは最後まできちんと聴くこと。 ②ノートは毎時間確実に指示通り取ること。 ③プリント類はすべてノートに貼ること。（はさみとのはりは必需品）						

授業科目名	古典 B		単位数	2 単位	学年	3
使用教科書	新編古典 B (東京書籍)		副教材等	読んで見て覚える重要古文単語 315 (桐原書店) 完全傍訳やさしく詳しい古典文法 (尚文出版)		
○学習の到達目標						
①古典で用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読む力を身につける。						
②様々な古典の文章に親しみ、思考力や表現力を伸ばし、ものの見方や感じ方を豊かにする。						
③言語文化に対する関心を深め、伝え合う力を高めるとともに国語を尊重して、その向上を図る態度を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	1 学期中間考査	枕草子	<ul style="list-style-type: none"> 随筆を読み、自然や人間に対する古人の優れた感性に触れる。 言葉の変遷という観点から古語と現代語を比較し、国語の特質について考える。 歌物語を読み、古人の物の見方や感じ方を味わう。 		
	5		伊勢物語			
	6	1 学期期末考査	鼓腹撃壤	<ul style="list-style-type: none"> 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、内容を正確に理解する。 登場人物の生き方について考える。 		
7	燕雀安知鴻鵠之志哉					
2 学期	9	2 学期中間考査	大鏡	<ul style="list-style-type: none"> 歴史物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 漢詩の基本を学び、内容を読み取って、情景や作者の思いを考える。 		
	10		刎頸之交			
	11	2 学期期末考査	源氏物語	<ul style="list-style-type: none"> 長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 古典文法の知識を活かし、解釈を深める。 		
12						
3 学期	1	学年末考査	論語・孟子・荀子・老子・荘子	<ul style="list-style-type: none"> 古代中国の様々な思想を読み取り、人間について思索を深める。 自分たちの生活の中にある、古代中国の思想の影響について考える。 		
	2					
	3					
○評価方法						
①授業態度…教材の準備状況・出席状況・授業への取り組みの姿勢・ノート状況。						
②提出物…課題等の提出状況						
③定期考査…各学期に実施する考査の成績。また、課題テストの成績も含む。						
○履修上の注意及びアドバイス						
①授業者や発表者の説明などは最後まできちんと聴くこと。						
②ノートは毎時間確実に指示通り取ること。						
③プリント類はすべてノートに貼ること。(はさみとのはり必須品)						

授業科目名	日本史 B	単位数	2 単位	学年	3
使用教科書	新選日本史 B (東京書籍)	副教材等	図説日本史 (啓隆社) 新選日本史 B ワークノート (東京書籍)		

○学習の到達目標 (2・3 年次継続履修)

- 1、わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って、総合的に考察する。
- 2、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めする。
- 3、歴史的な思考力を培い、国民の自覚と国際社会に生きる日本人としての自覚を養う

学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標
1 学 期	4	第 4 章 近代国家の形成と国民文化 2 立憲政治の形成と国民文化 1 学期中間考査	教科書 資料集 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・開国から明治維新までの過程を把握させ、日本が国際社会に組み込まれる点を、当時の社会や経済と関連させて理解を深める。 ・立憲体制の成立過程と、国家的課題であった条約改正交渉の経過とその意義を考察する。 ・日清・日露戦争から韓国併合、満州への進出までの経過を世界史的視野から考察させ、日本政府の対外政策について理解を深める。 ・第一次世界大戦前後の国際社会の動向が日本の政治・経済・社会・外交政策に与えた影響を考察する。
	5	3 日本の近代化と東アジア		
	6	4 デモクラシーと第一次世界大戦		
	7	1 学期期末考査		
2 学 期	9	5、激動する世界と日本 2 学期中間考査	教科書 資料集 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・1930年代の世界情勢が日本に与えた影響と、その後の満州事変・日中戦争・太平洋戦争・敗戦までの過程を理解する。 ・敗戦からの復興から現在にいたるまでの過程を世界史的視野を入れながら、考察する。
	10	第5章 現代の世界と日本 1 占領と国内改革 2 国際社会への復帰と高度経済成長 3 石油ショックと低成長の時代		
	11	2 学期期末考査		
	12			
3 学 期	1 2 3	4 新しい国際秩序と日本の課題 学年末考査	教科書 資料集 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・敗戦からの復興から現在にいたるまでの過程を世界史的視野を入れながら、考察する。

○評価方法

- ・考査ごとに、考査の素点 (7 割)、平常点 (3 割) で総合的に評価する。
- ・平常点は、授業に対する態度・関心、提出物 (板書ノート、訂正ノート、課題プリントなど) などを総合して評価する。
- ・1 学期・2 学期の成績は、各学期の中間考査・期末考査を相加平均する。
- ・学年総合成績は、各学期の相加平均とする。

○履修上の注意及びアドバイス

- ・単なる語句の暗記中心の学習ではなく、各時代の政治・経済・文化面を深く知り、他の時代と関連づけていくことで、時代の流れを理解・把握していく学習が大切です。
- ・日本史の中で郷土である対馬がどのような形で出てくるのか、考察する事も大切です。

授業科目名	現代社会		単位数	2単位	学年	3	
使用教科書	現代社会（東京書籍）		副教材等	最新図説現社(浜島書店)			
○学習の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・1学期…2年生で学習した現代社会のうち、政治分野、経済分野、国際分野を中心に復習し、理解を深める。 ・2、3学期…現代社会の課題、青年期の課題について理解を深め、これらの問題に対し、自己の意見をまとめる。 							
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標			
1 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と民主政治 	教科書 図説 プリント	政治分野、経済分野、国際分野の復習を行い、理解を深める。			
	5						1学期中間考査
	6						<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と民主政治 ・個人の尊重と法の支配
	7						<ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済と国民福祉 ・国際社会と人類の課題
		1学期期末考査					
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期と自己形成の課題 	教科書 図説 プリント	青年期の課題について、現代社会の変化と関連づけながら理解する。			
	10						2学期中間考査
	11						<ul style="list-style-type: none"> ・青年期と自己形成の課題
	12						2学期期末考査
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生きる社会 	教科書 図説 プリント	現代社会の問題について、テーマを取り上げ、幸福、正義、公正について自ら考える姿勢を身に付ける。			
	2						学年末考査
	3						
○評価方法							
定期考査7割+平常点3割							
平常点は ①小テスト ②プリント等課題 ③授業への取り組み ④授業ノートで評価							
○履修上の注意及びアドバイス							
よく生きるとはどういうことか、よりよき社会とはどのような社会であるかを考え、未来の社会をつくる担い手として、自ら考え、行動できる人間になるため、積極的に学習に取り組んでください。							

授業科目名	数学Ⅱ（進学・公務員コース）		単位数	5単位	学年	3
使用教科書	新高校数学Ⅱ（実教出版）		副教材等	新課程3ROUND 数学Ⅱ+B （数研出版）		
○学習の到達目標						
<p>（進学）「数学Ⅱ」の内容だけでなく、「数学Ⅰ」や「数学A」の内容も取り入れた問題演習を通して、進路実現に必要な力の定着を図る。また、事象を数学的に考察し処理する能力を身につけ、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。</p> <p>（公務員）「数的推理」「資料解釈」についての問題演習を通して、国家Ⅲ種・郵政一般・市町村・警察官などに合格するための力を身につける。教養合格ラインは6～7割であるので、やさしい問題、よく出る問題を集中的に学習する。</p>						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	1学期中間考査	教科書（数学Ⅱ） 副教材	○（進学）基本的な事項の確認 教科書レベルの問題や頻出問題の演習を行うことで応用問題を解くための基礎力を身につける。		
	5			○（公務員）テーマ別問題演習 教材を用いて、頻出問題のテーマ別問題演習を実施し、公務員試験を突破するための基本的な力を養成する。		
	6	1学期期末考査				
	7					
2 学期	9	2学期中間考査	教科書（数学Ⅱ） 副教材	○（進学）実践形式の演習、弱点補強の学習 過去問や模擬試験レベルの問題演習を通して、より実践的な力を身につける。また、本番直前の学習として、不得意分野中心の学習をすることで、効率的に得点を取れるようにする。		
	10			○（公務員）実践問題演習 過去問題を使つての演習を通して、より実戦的な力を身につけるとともに、制限時間の中でどのように問題に取り組めばよいのかを考えていく。		
	11	2学期期末考査				
	12					
3 学期	1	学年末考査	教科書（数学Ⅱ） 副教材	○数学Ⅱの復習 数学Ⅱの学習内容の総復習をする。応用レベルの問題にも取り組むことで、数学的思考力を高める。		
	2					
	3					
○評価方法						
定期考査の成績や小テスト、提出物、また授業への取り組みなどを総合的に判断し評価する。						
○履修上の注意及びアドバイス						
<p>（進学）受験に数学が必要な人は1日1問でも多く問題演習に取り組むことが大切です。進路実現を果たすためにも予習・復習を怠らず目的意識を持ち、日々努力してください。</p> <p>（公務員）1学期中には全範囲の学習を終わらせて、夏休みからは繰り返して過去問演習を実施する予定です。9月から採用試験が始まることを考慮すると、すべてにおいて早めの準備をする必要があります。合格ラインを突破するために、日々の予習や復習をしっかりとすることが大切です。</p>						

授業科目名	数学Ⅱ（就職コース）		単位数	5単位	学年	3
使用教科書	新高校数学Ⅱ（実教出版）		副教材等	新課程3ROUND 数学Ⅱ+B （数研出版） 基本ワーク数学（増進堂・受験研究社）		
○学習の到達目標 就職試験の出題範囲の一般教養の内容と数Ⅱの内容を、問題演習を通じて身につける。 割合・濃度・速さ・距離・時間などのような日常的に使われる計算を確実に修得する。 四則演算などの「基本的な計算力」の習得を徹底する。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	1学期中間考査	教科書（数学Ⅱ） 副教材	○基本的な計算の確認 整数や分数の四則演算を演習で確認 整式の展開・因数分解の復習 分数式の演算の復習、2次方程式の復習		
	5			○割合や食塩水、図形の問題演習 割合や%についての復習、および食塩水の濃度 についての演習。直線の方程式、様々な図形の 面積を求める演習。		
	6 7	1学期期末考査				
2 学期	9	2学期中間考査	教科書（数学Ⅱ） 副教材	○実践形式の問題演習 文章問題などの総合問題を通して、より実践的 な力を身につける。		
	10			○問題演習 秒⇄分のように、異なる単位に関する計算を 行う。指数の演算についての復習を行う。		
	11	2学期期末考査		1学期の復習を行う。		
	12					
3 学期	1	学年末考査	教科書（数学Ⅱ） 副教材	○様々な計算の練習 社会に出て実際に直面するような様々な計算 方法についての理解を深める。		
	2					
	3					
○評価方法 定期考査（年間5回実施予定）の成績や、提出物、授業中の小テスト、授業への取り組み などを総合的に判断して評価する。						
○履修上の注意及びアドバイス 少し長い足し算や引き算などを面倒くさいと感じ、計算をあきらめた事がないでしょうか？ まずは計算を確実に解いていく力と、気持ちを身につけることが大切です。少ないチャンスを 最大限に利用できるよう、日頃からの取り組みが大事になってきます。 就職試験では、中学校で習った事から高等学校で習った事まで幅広く出題されます。一つ一つ をしっかりと復習し、理解を深めていきましょう。						

授業科目名	生物		単位数	4単位	学年	3年
使用教科書	生物（数研出版）		副教材等	スクエア最新図説生物 スタディノート生物		
○学習の到達目標 生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	第1編 生命現象と物質	教科書 図説 授業プリント 実験プリント 研究ノート	<ul style="list-style-type: none"> 細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解する。 様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。 呼吸、光合成、窒素同化の仕組みについて理解する。 DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解する。 遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を理解する。 遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解する。 減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的な組合せが生じることを理解する。 遺伝子の連鎖と組換えについて理解する。 動物の配偶子形成と受精の過程、細胞の分化と形態形成の仕組みを理解する。 植物の配偶子形成と受精及び胚発生の過程について理解する。 被子植物の器官の分化の過程について理解する。 		
	5	第1章 細胞と分子 第2章 代謝 1学期中間考査				
	6	第3章 遺伝情報の発現				
	7	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 1学期期末考査				
2 学期	9	第3編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動	教科書 図説 授業プリント 実験プリント 研究ノート	<ul style="list-style-type: none"> 外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応する仕組みを理解する。 刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。 植物が環境変化に反応する仕組みを理解する。 個体群とその変動について理解する。 生物群集の成り立ちについて理解する。 生態系における物質生産とエネルギー効率について理解する。 生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識する。 		
	10	2学期中間考査				
	11	第6章 植物の環境応答 第4編 生態と環境				
	12	第7章 生物群集と生態系 2学期期末考査				
3 学期	1	第5編 生物の進化と系統 第8章 生命の起源と進化	教科書 図説 授業プリント 実験プリント 研究ノート	<ul style="list-style-type: none"> 生命の起源と生物進化の道筋について理解する。 生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。 生物はその系統に基づいて分類できることを理解する。 		
	2	第9章 生物の系統 学年末考査				
	3					
○評価方法 定期考査：平常点＝7（6）：3（4）の割合で評価を行う。平常点は授業態度、授業中の小テスト、課題提出、実験レポートの提出などとする。1学期・2学期の成績は各学期の中間評価と期末評価の相加平均とし、学年総合成績は各学期の成績の相加平均とする。						
○履修上の注意及びアドバイス 2年生において学習した「生物基礎」から、さらに広く深く「生物学」について学んでいく。専門用語の意味をしっかりと理解し、図や表などの見方・考え方を身につけ、身の回りにおける様々な現象への理解を深め、物事を科学的に捉える力を養う必要がある。						

授業科目名	体育		単位数	2 単位	学年	3
使用教科書	なし		副教材等	なし		
○学習の到達目標 各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、構成・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	・体づくり運動	・デジタイマー ・得点板・黒板 ・ラケット ・ボール ・ホイッスル	・集団としての行動を秩序正しく、能率的に行う。		
	5	・球技選択		・互いに協力して自己責任を果たす。		
	6	・体づくり運動		・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。		
	7			・体育大会の自主的な実践を通して、公正・協力・責任感の精神を養う。また、学級・学年の融和をはかり、豊玉高校生として、尚一層の意識の向上を目指す。		
2 学期	9	・体育大会	・得点板・黒板 ・ラケット ・ボール ・ホイッスル ・デジタイマー	・機敏、的確に元気よく行動する。		
	10	・球技選択		・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。		
	11	・マラソン大会		・長距離走の特性である、忍耐力と基礎的運動能力を高め、健全明朗な精神の育成を目指す。		
	12					
3 学期	1	・球技選択	・デジタイマー ・得点板・黒板 ・ラケット ・バッド・ボール ・グローブ ・ホイッスル	・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。		
	2					
	3					
○評価方法 評価規・基準を参考のこと						
○履修上の注意及びアドバイス 日々の授業に参加することが一番重要です。見学する場合も必ず体育服で参加し後片づけなど協力できることはすること。また、見学用紙に授業内容及び感想を記入して提出すること。						

授業科目名	コミュニケーション英語Ⅱ		単位数	3単位	学年	3
使用教科書	Vivid English Communication Ⅱ (第一学習社)		副教材等	コーパス3000		
○学習の到達目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	Lesson 5	Vivid English Communication Ⅱ コーパス3000	Lesson 5 医療技術の進歩や今後の展望について考える。 群動詞(受け身) / 進行形(受け身) / 関係副詞の制限用法 / 関係副詞の非制限用法		
	5	1学期中間考査 Lesson 5・6		Lesson 6 小笠原諸島の世界遺産登録の背景と、ガラパゴス諸島の事例から得られる教訓を学び、環境保護に対する自分たちの責任について考える。 「時」や「理由」を表す副詞節 / 分詞構文(現在分詞) / 「推量」を表す助動詞 / 助動詞+have+過去分詞		
	6 7	1学期期末考査 Lesson 6				
2 学期	9	Lesson 7 2学期中間考査	Vivid English Communication Ⅱ コーパス3000	Lesson 7 ジョン万次郎がアメリカの捕鯨船に救助されたことをきっかけにアメリカへ渡りさまざまな体験をしたことを学ぶ。 「時」や「理由」などを表す副詞節 / 分詞構文(過去分詞) / 関係代名詞...前置詞 / 前置詞+関係代名詞		
	10	Lesson 8 2学期期末考査		Lesson 8 従来の交通機関の問題点とLRTの利点を知り、新しいタイプの交通機関について考える。 仮定法過去 / S+V+O+C		
	11					
	12					
3 学期	1	Lesson 9	Vivid English Communication Ⅱ コーパス3000	Lesson 9 瀬谷ルミ子さんの活動と武装解除への取り組みについて読み取り、平和のための活動とそれに関わる人々の意志について考える。 have(get) + O + 過去分詞 / 完了不定詞 / 仮定法過去完了 / 省略		
	2	学年末考査				
	3					
○評価方法 定期考査の結果に加えて、小テスト・提出物・音読テストなどを点数化したものにより総合的に評価します。						
○履修上の注意及びアドバイス 教科書については、自分の分からない単語を辞書で調べ、文章の意味を把握した上で授業に臨むことを前提として授業を行いますので、しっかりと予習しておくことが必要です。また、授業で行われる単語の小テストなどについても家庭での学習を十分にしておく必要があります。 週末には課題を出すこともありますので、計画的に家庭学習をする習慣を身につけてください。						

授業科目名	英語表現 I		単位数	2 単位	学年	3
使用教科書	ATLANTIS English Expression I (チアーズ)		副教材等	高校総合英語Harvest		
○学習の到達目標 英語の文構造を理解し、様々な出来事や自分の意見を英文で表現する能力を養う。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	Lesson9	ATLANTIS	・過去形のbe動詞を用いて、体験したことについて感想を尋ねたり述べたりする。		
	5	1学期中間考査 Lesson10・11	高校総合英語 Harvest	・物語「赤ずきんちゃん」を読む。		
	6	1学期期末考査 Lesson12		・過去形の一般動詞を用いて、体験したことについて詳しく説明する。		
	7			・過去形のbe動詞・一般動詞を用いて、自分の一日の出来事を説明する。		
2 学期	9	Lesson12・13	ATLANTIS	・助動詞used toを用いて、過去と現在の自分の変化について表現する。		
	10	2学期中間考査 Lesson14・15	高校総合英語 Harvest	・過去進行形を用いて、ある時期や時間に「一時的にしていたこと」について表現する。		
	11			・-edで終わる形容詞と-ingで終わる形容詞を使い分けて、自分の感情や物事に対する印象を表現する。		
	12	2学期期末考査				
3 学期	1	発音とスピー チ	ATLANTIS	・正しい発音の仕方を学習し、自分の体験したことについて、スピーチをする。		
	2	学年末考査	高校総合英語 Harvest			
	3					
○評価方法 定期考査の結果に加えて、小テスト・提出物などを点数化したものにより総合的に評価します。						
○履修上の注意及びアドバイス まずは文法を理解することが大切です。また重要な構文・単語を暗記すればするほど、オリジナルの英文を書く力がつきます。家庭での予習復習をしっかりと行いましょう。						

授業科目名	社会と情報		単位数	1 単位	学年	3
使用教科書	高等学校 社会と情報（第一学習社）		副教材等	なし		
○学習の到達目標 コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理（選択・加工）・発信（伝達）するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度・情報社会に積極的に参画する態度を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	第2章第3節 情報通信ネットワーク活用とコミュニケーション	・教科書 ・パソコン	<授業内容> ワードプロソフトを使ってのタイピングの練習。 ビジネス文書作成。 パソコンに関する専門用語等の習得。 <目標> レイアウトを整えた文書作成ができるようになる。 ビジネス文書検定3級程度の技術習得を目指す。		
	5					
	6					
	7					
2 学期	9	第3章第1節 情報化が社会にもたらす利点と問題点	・教科書 ・パソコン	<授業内容> 表計算ソフトの操作 表・グラフの作成 アンケート調査について など <目標> 表計算ソフト「エクセル」の基本的操作とソフトを活用した表・グラフの作成、関数の取扱などについて理解する。		
	10					
	11					
	12					
3 学期	1	第3章第3節 情報社会における法と個人の責任	・教科書 ・パソコン	<授業内容> 情報機器の発達について学ぶとともに、「パワーポイント」でのプレゼンテーションを通して、情報の統合や処理・表現、そして作品の評価と改善について学ぶ。 <目標> 様々な情報をコンピュータ上で統合的に扱うため、マルチメディアの特徴と利点を理解する。また自分の考えや主張を伝える作品を制作するには、企画を立て、企画書を作成することが必要かつ重要であることを知る。その評価についても同様である。		
	2					
	3					
○評価方法 提出物（実習作品）、小テストへの取り組みおよび成績、授業態度などを基に総合的に評価する。						
○履修上の注意及びアドバイス 情報化社会に関心を持ち、将来にわたって情報技術の活用能力を高めていきましょう。また、コンピュータを用いた情報の活用を学びますが、ただ単にコンピュータの操作ができることを目的とはしていません。						